

## 名取市立関上小中学校



名取市立関上小中学校の八森校長先生から震災当時の様子とその後の復興について貴重なお話を聞くことができました。校長先生は、震災当時、関上中学校の教務主任でした。その後、名取市の教育委員会に勤務なされ、関上中学校の教頭を経て今年度開校の関上義務教育学校の校長先生になられました。校長先生は本学の卒業生で皆さんの先輩でもあります。

震災時には、生徒教職員地元の人と校舎の2・3階に避難して多くの方の命を守りました。校長先生からは、生徒・児童の命を守るための関上小中学校の防災教育について話していただきました。

最後に関上小中学校の校舎を見せていただきました。学校には見えない素敵な校舎でした。屋上は1000人収容の避難スペースになっています。

## 山元町中浜小学校跡地



中浜小学校は、海岸から約3百メートルにある学校でした。東日本大震災当時の在籍児童は59名、職員数は14名の学校です。3月11日午後2時46分東日本大震災の大きな揺れに見舞われ、テレビの情報では、大津波警報が出ており、10分後の津波到来予測を伝えていました。2次避難所になっている中学校までは、20分以上かかるため屋上への避難をおこないました。津波は4波まで襲ってきました。津波の高さは2階の天井まで、上の写真の青い印のところまで津波がきました。校舎の周りにはたくさんの住居があったのですが、みんな流されてしまいました。児童と教職員地元の方々は、屋上の倉庫に避難して一夜を過ごし、次の日、自衛隊のヘリコプターで避難所まで避難しました。

## 丸森町立耕野小学校



丸森町立耕野小学校は、東日本大震災による福島第一原発の事故により、放射線量の数値が高くなり、3度の除線を行い、保護者と話し合いながら子どもたちにとってよりよい教育を模索・実践してきた小学校です。全校児童数一桁の学校ですが、一人一人が自立しているすばらしい学校です。白倉校長先生は今年の4月に気仙沼市の小学校からおいでになりました。教員で当時は宮城教育大学の教職大学院に通っていたこと、震災当日は所属校である気仙沼の小学校にいて仕事をしていたそうです。学校の様子とその後の復興について貴重なお話を聞くことができました。

齋藤教頭先生からは、耕野小学校が実施している山村留学と特色ある学校行事についてお話を伺いました。本年度1名の6年生は、東京からの山村留学生だそうです。

## いなか道の駅やしまや

「いなか道の駅やしまや」の八島哲郎さんからは、阿武隈川の洪水の話、原発事故による風評被害についてのお話を伺いました。たけのこ栽培では竹林の徐線や整備をボランティアの方々をお願いしており、それが縁でその後もお付き合いが続いているとのことでした。たけのこは、放射性物質の全量検査をして出荷するようになったとのこと。名産の柿には、原発事故の影響は無かったのですが、放射線を心配して大丈夫かという問い合わせが続き、売り上げが大きく落ちたそうです。震災前から、たけのこや柿などをさまざまな工夫をしながら販売してきたやしまやさんです。私たちがわからない震災被害からの復興の大変さをユーモアを交えてお話いただきました。

